

1.技 術	2.4 その他（資源回収、河川、森林等を含む）
2.事 業 名	2.4.51 省エネを実現する水処理再生膜のグレード分類に関する国際標準化 (R3)
3.キーワード	省エネ、水再生、標準化、膜分離
4.目 的	<p>本事業は、使用済みの水処理膜を再生した再利用膜を性能によってグレード付けをする国際規格を開発するものである。これにより、性能に優劣のある再利用膜に適正な評価を与え、再利用膜の新たな市場創出に資するとともに、品質の良い日本製膜の差別化を図ることを目的としている。</p>
5.内容、成果	<p>省エネ効果に関しては、新膜の製造に比べて使用済み膜の再生工程に関わるCO<sub>2</sub>排出量は非常に少なく、また、膜の再利用促進は、膜の廃棄を減らし、廃棄工程に関わるCO<sub>2</sub>排出量も削減されるなど大きな効果がある。それは、水処理業界としての環境保全やSDGsのアピールにもなる。</p> <p>令和3年度は、薬品による膜の性能回復効果等を確認すべくウォータープラザ北九州などの設備で実験を実施し、国際標準化機構に本規格案の説明、ならびにNP(New Proposal)の提案を行った。</p>
6.参 照	本事業は、(株)野村総合研究所からの委託事業として実施したものである。